

情報処理科・経営管理科 3年A・B・C・D組 (全コース)

教科名	国語	科目名	現代文A (3単位)
使用教科書	新編現代文A (第一学習社)	副教材等	新編現代文A学習課題集 (第一学習社) 必携国語セミナー (浜島書店) (前年度から継続使用)

1 科目のねらい (目標)

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

具体的には、1・2年時の「国語総合」の履修で育成された「国語を適切に表現し的確に理解する能力」を生かし、論理的な文章や随想では、論理の展開や要旨を的確に捉えること、またそれに基づいて自己の考えを表現する力を育成する。文学的な文章では、人物・情景・心情などを的確にとらえ、表現を味わう。また、詩・短歌・俳句等の韻文を鑑賞し、様々な表現の仕方を理解し、母語である「日本語」の表現の豊かさに対する理解を深める。

2 科目・授業の内容と進め方

現代文では、正確に読めるように、相手に確実に伝わるように、読みを十分に行います。また、語句の説明や漢字学習も行います。これらの基本的作業の後、内容読解を行います。

内容読解では、登場人物の心情や行為の背景、また作者・著者の考えや作品に託した意図をとらえ、意見の発表もします。「分かりません」という発言をなくし、積極的に考えを述べられるように、グループでの討議も行います。読解・鑑賞が終了したら、それらの作品に対して自分の考えを、文章または口頭で表現します。

また、単元に関わりなく、漢字や語句を確実に身に付けるための練習や小テストも行います。

3 学習の方法

- ・辞書を用いての語句の意味調べや漢字練習は、必ず家庭学習 (予習) してることが必要です。教科書に出てきた漢字や語句は最低限理解していなければなりません。
- ・作品に対して、また先生の質問や生徒の意見に対しては、自分の考えをしっかりと持ちましょう。そしてそれを積極的に表現するようにしましょう。
- ・ノートは、黒板に書いてあることを写すだけでなく、自分の考えや大切だと思われることをしっかりと記録してください。
- ・日頃から、読書 (絵・写真のない文章) に親しみましょう。

4 課題・補習について

- ・漢字や語句については、随時小テストを行います。努力を怠っている生徒にはそれ相応の努力をさせます。
- ・作品に対する自分の考えを表現し、提出または発表をします。
- ・定期的に、ノートや課題集の点検を行います。

情報処理科・経営管理科 3年A・B・C・D組 (全コース)

教科名	国語	科目名	現代文A (3単位)
-----	----	-----	------------

5 年間の学習計画

月	単元名	教材	単元の内容・学習の内容 (ねらい)	評価方法 (課題等)
4	新しい発見	なぜ“コロンブスの卵”を描くのか (福田哲夫)	随想的な文章の内容や表現の特色を学び、固定観念のもつ性質について理解し、そこから自由になるための方法について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・予習 (正確に読む力、漢字・語句) ・小テスト ・自己の考えの表現 ・授業態度 ・ノート、課題集点検 <p>前期中間考査</p>
5	小説を読む (一) 言語と文化	デューク (江國香織) 数え方で磨く日本語 (飯田朝子)	小説の構造、登場人物の心情などを捉え現代小説のおもしろさを味わう。 随想的な要素を持つ評論の読み方を学び、日本語のものの数え方の特徴について理解し、自らの言語生活に引きつけて考える姿勢を養う。	
6	言語と文化	犬も歩けば棒に当たる (阿刀田高)	具体例と筆者の主張との関係を捉え、諺の知識を豊かにし、自らの日本語の使い方を見直しつつも、柔軟な発想で物事を解釈する姿勢を養う。	
7	詩を味わう	汚れつちまつた悲しみに…… (中原中也) 永訣の朝 (宮沢賢治)	近代詩の鑑賞に習熟するとともに、言語に関する感性を磨く。 また、個性的なものの見方や表現技巧にも注目してより深い鑑賞をし、心情を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・予習 (正確に読む力、漢字・語句) ・小テスト ・自己の考えの表現 ・授業態度 ・ノート、課題集点検 <p>前期期末考査</p>
8・9	小説を読む (二)	ナイン (井上ひさし)	小説の語り手の存在について意識しながら全体の構成をつかみ、主題を考え、人や人生に対する見方を深める。	
10	人間と文化	花女房 (河合隼雄) コミュニケーションの文化 (平田オリザ)	対照的・対比的な論述の仕方に着目し、筆者の主張を正確に読み取り、東西文化の相違について認識を深める。 国や民族によってコミュニケーションの文化が違うことを理解し、日本人のコミュニケーションの問題点を自らに引き合わせて考える。	
11・12	小説を読む (三)	こころ (夏目漱石)	文豪夏目漱石の代表的な作品を読み、作中人物の心理と行動を読み取る力を養う。他者との関わりの中で、自分の「心」からかけはなれていってしまう「先生」の姿を通して人間という存在の有り様を考える。	後期中間考査
1	人生の風景 社会と文化	出島のチューリップ (吉田直哉) 大量生産の眩暈 (原研哉)	随想の読み方を習得し、筆者がどのように回想しているかを読み取り、言葉の重さや自分の心に残る風景について考える。 評論の読み方を習得し、本文の構成に注意しながら筆者の考察がどのように展開しているかを把握し、現代社会と人との関係に対する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・予習 (正確に読む力、漢字・語句) ・小テスト ・自己の考えの表現 ・授業態度 ・ノート、課題集点検
1・2	人間と社会	経験の教えについて (森本哲郎) 支え合うことの意味 (鷲田清一)	経験と自己認識との関係について理解し、経験に学ぶことの重要性を自己の問題として考える。 近代的な社会とはどのような社会で、どのような問題点があるのかを読み取り、筆者の主張を参考にして自らの生き方を考える。	

